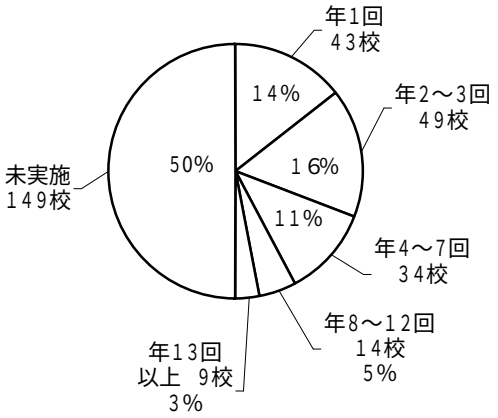
８　複数献立実施状況　（平成19年度）

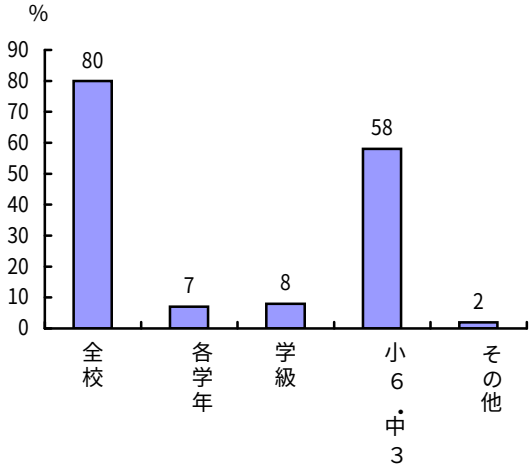
児童生徒に、主体的に自ら選んで食べることをとおして食事に関する自己管理能力を身につけさせることは、生涯にわたり健康な生活を送る上からも重要なことである。複数献立を導入したバイキング・セレクト等、選択できる給食の実践も、今後の学校給食をより豊かなものとするために大切なことである。また、選択できる給食を実施する場合、日々の給食で指導したことをより一層充実させ、自己の健康管理能力を育てるため、指導を事前、事後に行うと効果的である。

県内の給食実施校(県立学校を含み298校）では半数の学校(149校)で複数献立が実施されている。

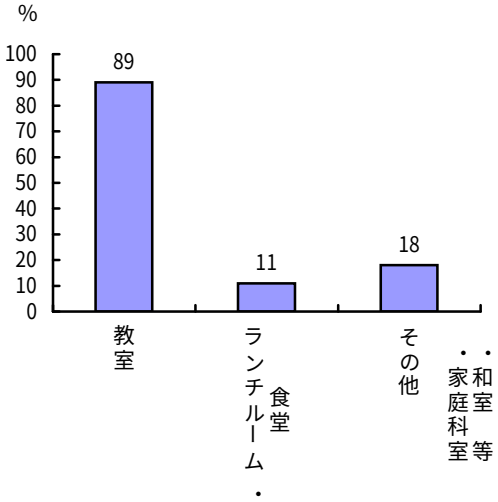
(1) 実施回数



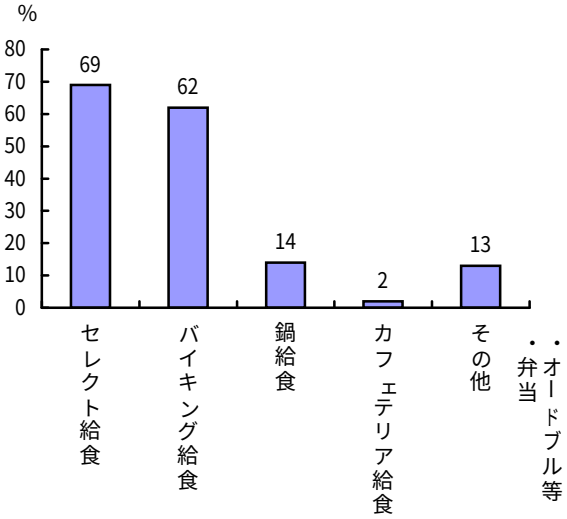
(2) 実施対象



(3) 実施場所



(4) 実施内容



（注１）　１の対象は、完全・補食給食実施校(県立学校を含む)
（注２）　２～４は、複数献立実施校の回答によるものであり、重複回答もある。